

**PAT-NO:** JP406130766A  
**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 06130766 A  
**TITLE:** IMAGE PROCESSOR

**PUBN-DATE:** May 13, 1994

**INVENTOR-INFORMATION:**

**NAME**            **COUNTRY**  
KATSUTA, ISAO

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

**NAME**            **COUNTRY**  
FUJI XEROX CO LTD N/A

**APPL-NO:** JP04305084

**APPL-DATE:** October 16, 1992

**INT-CL (IPC):** G03G015/00 , G06F001/00 , H04N001/00 , B41J029/00

**US-CL-CURRENT:** 399/8 , 399/111

**ABSTRACT:**

**PURPOSE:** To provide an image processor capable of easily selecting a function corresponding to a level required by a user and excellent in operability, even in an image processor provided with a complex function.

**CONSTITUTION:** In the image processor, a desired function is previously selected according to the level of the user, out of plural functions and when the user is identified, the desired function can be selected from the functions previously selected by the user. The identification of the user can be recognized in such a manner that a pass-word is inputted or a user's own memory or IC card is fitted, so that even in the image processor provided with the complex function, it can be conveniently used by the users of any levels from a beginner to an expert.

**COPYRIGHT:** (C)1994,JPO&Japio

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-130766

(43)公開日 平成6年(1994)5月13日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 3 G 15/00	3 0 2			
G 0 6 F 1/00	3 7 0	E 7165-5B		
H 0 4 N 1/00		C 7046-5C		
// B 4 1 J 29/00		9113-2C	B 4 1 J 29/ 00	Z

審査請求 未請求 請求項の数3(全 6 頁)

(21)出願番号 特願平4-305084

(22)出願日 平成4年(1992)10月16日

(71)出願人 000005496

富士ゼロックス株式会社  
東京都港区赤坂三丁目3番5号

(72)発明者 勝田 勇生

神奈川県海老名市本郷2274番地 富士ゼロ  
ックス株式会社内

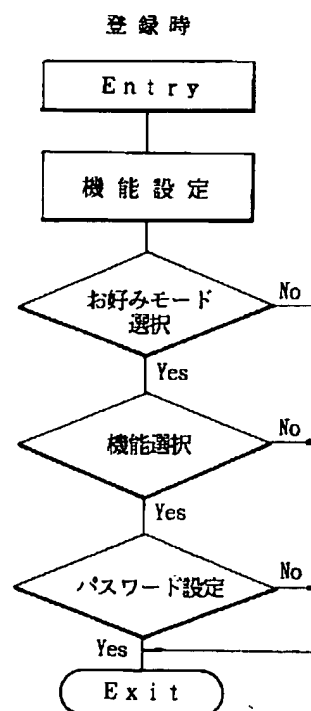
(74)代理人 弁理士 中野 佳直

(54)【発明の名称】 画像処理装置

(57)【要約】

【目的】 複雑な機能を備えた画像処理装置であっても、ユーザーの要求するレベルに合った機能を選択し易くした使い勝手の良い画像処理装置を提供すること。

【構成】 画像処理装置は複数の機能の中からユーザーのレベルに応じて目的の機能を予め選択しておき、ユーザーが誰であるかを識別すると、当該ユーザーの予め選択してある機能から目的の機能を選択できるようにしたものである。ユーザーの識別にはパスワードの入力またはユーザー固有のメモ리카ードまたはICカードが装着されたことにより認識できるようにしておくと、複雑な機能を数多く備えた画像処理装置でも初心者から熟練者まで、あらゆるレベルのユーザーがそれぞれ使い勝手よく使用できる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像処理のための複数の機能の中から目的の機能を選択して実行できる画像処理装置において、画像処理装置のすべての機能の中から、ユーザーの好みに応じて機能を選択し、同時に該選択機能に対応したパスワードを設定する構成を持ち、画像処理装置使用時にはパスワードの入力により前記ユーザーの好みに応じて選択した機能の中のいずれかを設定できる構成としたことを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】 画像処理のための複数の機能の中から目的の機能を選択して実行できる画像処理装置において、画像処理装置のすべての機能の中から、ユーザーの好みに応じて選択できる機能選択手段と、該ユーザーの好みに応じて選択した機能に対応したパスワード設定手段と、前記パスワードの入力によりユーザーが予め選択している機能の中からユーザーが目的の機能設定をすることができるユーザー機能設定手段とを備えたことを特徴とする画像処理装置。

【請求項3】 画像処理のための複数の機能の中から目的の機能を選択して実行できる画像処理装置において、画像処理装置のすべての機能の中から、ユーザーの好みに応じて選択できる機能選択手段と、該ユーザーの好みに応じて選択した機能に対応したパスワード設定手段と、前記パスワードの入力によりユーザーが予め選択している機能を表示するユーザー選択機能を表示する機能表示手段と、該表示手段の表示内容に基づき、ユーザーが目的の機能設定をすることができるユーザー機能設定手段とを備えたことを特徴とする画像処理装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、画像処理装置に関し、特に複写機、ファクシミリ、プリンタ等の画像処理装置のLCD、CRT等のユーザーインターフェース装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】近年、画像処理装置、例えば複写機においては、複写機能の拡大により機能操作装置が複雑化している。そのため、複写機能の設定のためにLCD、CRT等の表示画面を用いて、この表示画面の表示切り替えにより、多数の複写機能の内からオペレーターの必要とする複写機能を探し出して、入力をする装置が主流になっている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】一方、複雑化した画像処理装置の機能の中には一般的なユーザーには必要のない、あるいは使用頻度の少ない機能が多数あるため、一般的なユーザーは自分の使いたいものが探し出せない、

あるいは機能全体が使いづらいという印象を与えてしまうことがあった。そこで、本発明の目的は複雑な機能を備えた画像処理装置であっても、ユーザーの要求するレベルに合った機能を選択し易くした使い勝手の良い画像処理装置を提供することである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の上記目的は次の構成によって達成される。

(1) 画像処理のための複数の機能の中から目的の機能を選択して実行できる画像処理装置において、画像処理装置のすべての機能の中から、ユーザーの好みに応じて機能を選択し、同時に該選択機能に対応したパスワードを設定する構成を持ち、画像処理装置使用時にはパスワードの入力により前記ユーザーの好みに応じて選択した機能の中のいずれかを設定できる構成とした画像処理装置。

(2) 画像処理のための複数の機能の中から目的の機能を選択して実行できる画像処理装置において、画像処理装置のすべての機能の中から、ユーザーの好みに応じて選択できる機能選択手段と、該ユーザーの好みに応じて選択した機能に対応したパスワード設定手段と、前記パスワードの入力によりユーザーが予め選択している機能の中からユーザーが目的の機能設定をすることができるユーザー機能設定手段とを備えた画像処理装置。

(3) 画像処理のための複数の機能の中から目的の機能を選択して実行できる画像処理装置において、画像処理装置のすべての機能の中から、ユーザーの好みに応じて選択できる機能選択手段と、該ユーザーの好みに応じて選択した機能に対応したパスワード設定手段と、前記パスワードの入力によりユーザーが予め選択している機能を表示するユーザー選択機能を表示する機能表示手段と、該表示手段の表示内容に基づき、ユーザーが目的の機能設定をすることができるユーザー機能設定手段とを備えた画像処理装置。

本発明において、パスワードの設定はユーザーの暗号情報の入力またはICカード、メモ리카ードの装着で動作する構成としても良い。

## 【0005】

【作用】本発明の画像処理装置は複数の機能の中からユーザーのレベルに応じて目的の機能を予め選択しておき、ユーザーが誰であるかを識別すると、当該ユーザーの予め選択してある機能から目的の機能を選択できるようにしたものである。ユーザーの識別にはパスワードの入力またはユーザー固有のメモ리카ードまたはICカードが装着されたことにより認識できるようにしておく、と、複雑な機能を数多く備えた画像処理装置でも初心者から熟練者まで、あらゆるレベルのユーザーがそれぞれ使い勝手よく使用できる。

## 【0006】

【実施例】本発明の一実施例を図面と共に説明する。図

1には本実施例の複写機のマイクロプロセッサユニットMPU1を用いる制御システム構成図を示す。MPU1をコントローラとして、制御用プログラムを格納してROM2、RAM3および不揮発性RAM(NVM)4がアドレス、データのバスライン5に接続され、また、このバスライン5にはシリアル通信ポート6、データ記憶媒体ソケット7および入出力ポート8が接続されている。シリアル通信ポート6には表示装置を兼用する機能操作キー等の機能操作装置9が接続され、データ記憶媒体ソケット7にはICカード、メモリカード等が装着される。

【0007】本実施例では機能操作装置9としてLCD画面の下層に配置されるタッチキーを用いるので、機能操作装置9は表示装置としての機能も備えている。そして、ユーザーはLCD画面上に表示される複写ジョブの種類に従ってタッチキーを選択することで、種々の機能の中から目的とするジョブを選択して複写の実行ができる。また、データ記憶媒体ソケット7にはメモリカード等が装着されるとメモリーカード内の登録データはRAM3または不揮発性RAM(NVM)4に格納され、同時に表示装置兼用の機能操作装置9にそのジョブの種類等の主要なモードが表示される。メモリカード等から読み出されたデータはユーザーがLCD画面のしかるべきタッチキーを選択することで、複写機の出力制御部(図示せず)を介して複写データとして用紙に出力される。\*

(表1)

ユーザー	機能A	機能B	機能C	機能D	機能E	機能F	暗証番号
Wさん	○	○	○	○	○	○	4325
Xさん	○	○	○				2387
Yさん	○	○	○		○		1265
Zさん	○	○		○		○	7742

【0011】前述した手順を図2～図3のフローチャートで説明する。まず、図2はユーザーの機能設定登録時の手順を示すフローチャートである。各々のユーザーが自分独自の機能を設定するためには、まず、機能設定モードにおいて好みモードを選択する。機能設定モードのLCD画面は図4に示す。この好みモードとは自分のレベルに合った機能を設定するためのモードであり、たとえば図5、図6に示すLCD画面が好みモードの選択用の表示画面である。この好みモードでは複写機

の全機能の中からユーザーが必要と思われる機能を選択することができる。従って、通常は好みモードに入ると複数のLCD画面を切り替えながら、複数の機能の中からユーザーが自分に合った機能を選択することができる。

【0012】ユーザーが好みの機能を選択し、終了ボタンを押すと、図7に示すパスワード設定画面になるので、ユーザーはID番号を入力する。このID番号として暗証番号を入力できる方式または文字入力方式とすることができる。こうして、ユーザーは自分自身にとって※50

\*【0008】本実施例の特徴部分であるユーザーのレベルに応じて複写機能を選択して実行するための概略を説明する。本実施例の複写機がA～Fの6つの機能を有し、機能A、B、Cは誰でも通常の使用で使う機能であり、機能D、E、Fはある特殊な使い方をする場合に有効なものであるとする。この場合、従来の複写機では全部の機能をそれぞれ入力画面でもあるLCD表示画面に表示していた。本実施例では、例えば、もし複写機の認識したユーザーが初心者の場合は、A、B、Cの機能しか表示しないようにし、D、E、Fのような初心者に使えないような機能は表示から削除するものである。また、あるユーザーがEの機能を頻繁に使用するような場合には、複写機がそのユーザーを認識するとEの機能を表示するようにプログラミングしておき、複写機がそのユーザーを認識した時点でA、B、C、Eの各機能を表示するものである。

【0009】例えば、ユーザーの暗証番号を複写機が認識する方式にしておくと、ユーザーの暗証番号の入力またはICカード、メモリカードを装着した上でのユーザー入力により、複写機がユーザー固有の予め登録してある表1に相当するメモリから特定ユーザーの機能を入力装置でもあるLCD画面に表示して、ユーザーがその表示された機能の中から今回使用する機能を選択することができる。

【0010】

※使用し易い機能を複写機に備わった全部の機能の中から予め選択して、登録しておくことができる。

【0013】この好みモードで登録された機能を実行する場合には図3のフローチャートに示す手順に従ってLCD画面上に呼び出して実行する。本実施例の複写機はジョブの終了後、一定時間が経過すると図8に示すパスワード入力画面となる。ここで、ユーザー固有のID番号を入力するとユーザーが予め選択して登録してある機能が表示される。こうして、本実施例の複写機は自分が今回使用しようとする機能を比較的少ない選択枝の中から選ぶことができる。特に、一般的な機能しか使用しない初心者または一般ユーザーにとって、複雑な機能群を備えた複写機でも使い勝手がよくなり、しかも特殊な機能を使用するユーザーにとっても支障のない使い方ができる。

【0014】

【発明の効果】画像処理装置がユーザーを認識した時点で、そのユーザーに最適の機能を提供できるようになり、より効率良く必要な機能が選択できると共に画像処

5

理装置の操作部が複雑に見えて、使いづらいという印象を無くすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例の複写機の制御システム構成図である。

【図2】 本発明の一実施例の複写機の利用者の機能設定登録時の手順を示すフローチャートの図である。

【図3】 本発明の一実施例の複写機の利用者の好みモードで登録された機能を実行する場合の手順を示すフローチャートの図である。

【図4】 本発明の一実施例の複写機の機能設定モードのLCD画面を示す図である。

6

【図5】 本発明の一実施例の複写機のお好みモードの選択用のLCD画面を示す図である。

【図6】 本発明の一実施例の複写機のお好みモードの選択用のLCD画面を示す図である。

【図7】 本発明の一実施例の複写機の利用者固有のパスワードを入力して設定するためのLCD画面を示す図である。

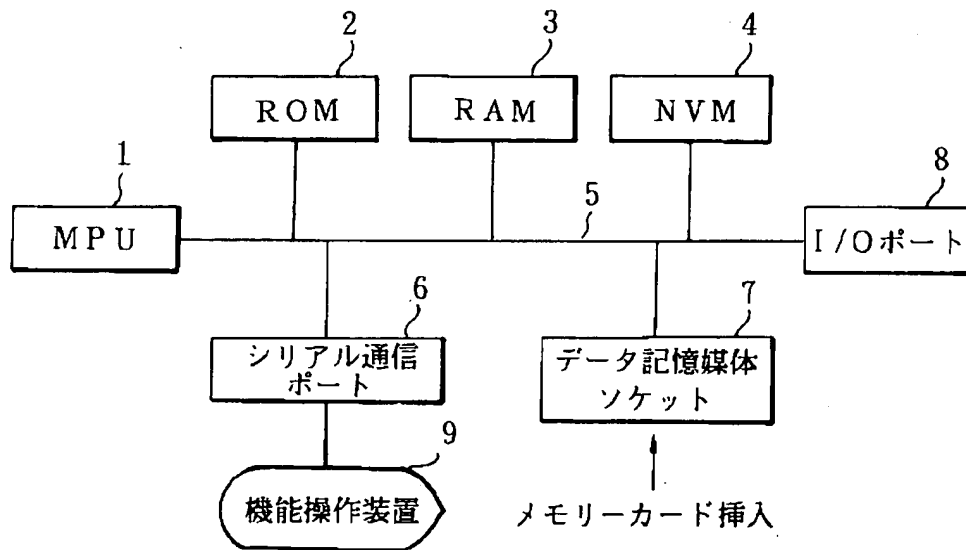
【図8】 本発明の一実施例の複写機の利用者が登録した機能を表示して機能選択するためのパスワード入力用のLCD画面を示す図である。

【符号の説明】

1…MPU、2…ROM、3…RAM

10

【図1】



【図4】

機能設定

機能設定

イ ホ

ロ へ

ハ お好みモード

ニ

取消し 終了

【図5】

お好み機能モード設定1

お好み機能モード設定1

A	E	I	M
B	F	J	N
C	G	K	O
D	H	L	P

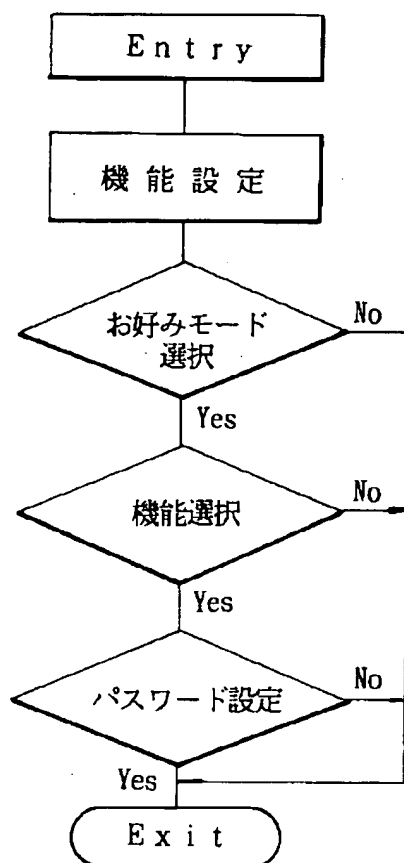
取消し 終了

斜線 : 設定されなかった機能

白 : 設定された機能

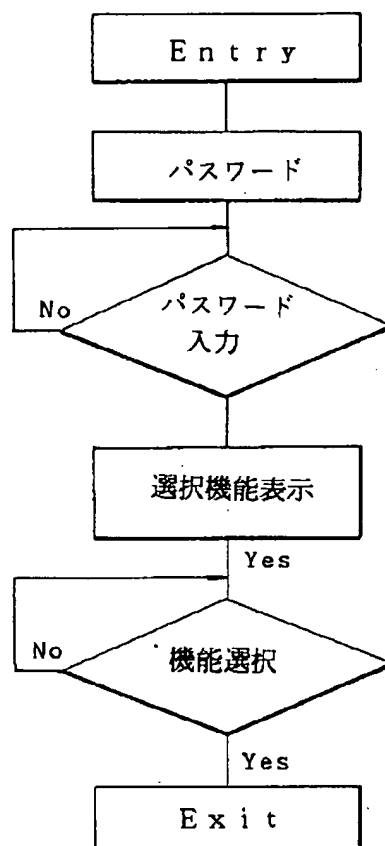
【図2】

登録時



【図3】

使用時



【図6】

[好み機能モード設定2]

好み機能モード設定2		取消し	終了
Q	U		
R	V		
S			
T			

: 設定されなかった機能  
 : 設定された機能

【図7】

[パスワード設定画面]

パスワード設定		リセット	終了
パスワードを入力してください			
<input type="text"/>			
1	2	3	
4	5	6	
7	8	9	
0			

【図8】

パスワード入力画面

パスワード入力		リセット	終了
パスワードを入力して下さい			
<input type="password"/>			